
農業関係者（農業振興会）との懇談会について

1. 懇談会の目的

次期総合計画策定にあたり、様々な分野の皆様から意見を聴き取ることを目的に開催したものであり、本会は、市内で水稻、野菜等の生産者で構成する「東金市農業振興会」の構成員から意見をいただき、基本構想骨子作成に際し参考とするため開催。

2. 懇談会の方法

- 開催期日 令和元年 7 月 3 日（水） 午後 1 時 30 分～
- 開催場所 市役所 5 階会議室
- 参加人数 5 名（男性：4 名、女性：1 名）
- 当局出席者 市長、企画政策部長、企画課長、企画課副課長、企画課担当職員
地域振興課職員、都市整備課職員

3. 主な意見

「東金市の強み・弱み」「東金市の将来像」という2つのテーマにより、東金市農業振興会に属する皆様から意見をいただきました。

【強 み】

農業分野について

- 温暖な気候が良い。（そのことは農業にとって強みという含み）
- 「みのりの郷 東金」が出来て、黒字化しているようだ。サラリーマン退職で帰農した人も多く出店しているようであり、そうした方々と連携していくことが強みになっていくのではないか。
- 自分は水稻栽培農家をやっているが、東金市は九十九里平野の真ん中で、広い平野が広がっているので農業がやりやすい。風水害等も少ない。農業をもっと「産業」として強化し、活性化すべき。
- 市全体での強みについてピンと来ないが、農業分野では「お米」の産地であることと思う。

その他

- テクノグリーンパーク～圏央道東金インター周辺的环境は強みである。もっと企業誘致があってよい。例えば、茨城県内ではインター周辺が発展している。

- 山間部の荒廃対策として、バイオマス発電などで対策を講じて良いと思う。三ヶ尻のクリーンセンターが移転するならその跡地だって候補ではないか。
- 東京などへの通勤圏である。

【弱み】

農業分野について

- 後継者育成が課題である。昔は地域の主要産業だったが、農業従事者の人口は減っている。農地も減っている。
- 山間部の荒廃が進んでいる。猪、アライグマ、ハクビシン等々も出没している。
- 前回の基盤整備から50年以上経過している。農地の再基盤整備（大区画化等）が必要。
- 昔はぶどう園がにぎわっていたが、今は活力が無くなっているように感じる。

その他の分野

- 東京への通勤圏内であるが、交通利便性が課題
- 目立った産業がない。
- 市内で就労する場が少なく感じる。
- 県外の人から「東金ってどこ？」といわれたことがある。

【東金市の目指すべき将来像】

- ◇10年後の希望として、市全体で農業後継者が増えて経営安定すると良い。
- ◇東金駅周辺の再開発、御成街道の整備などによる市の活性化。
- ◇市内での就業の場の確保
- ◇市の位置は千葉や都内、九十九里浜へも行ける好位置である。空家をうまく使って人口増をねらってはどうか。（例えばアパートのような使い方もある）
- ◇現在の総合計画の柱について、弱い部分を検証して充実させてはどうか
- ◇あと10年もすれば（自分は高齢化して）自動車運転できなくなるだろうから免許返納を考えている。公共交通の利便性が高まれば良いと思う。
- ◇農業の一経営規模が大きくなると経営しやすくなると思う。
- ◇農業は定年退職がなく長く働けるのだから農業のやりやすい環境を整えると良い。
- ◇農業などは個々人でなく組織力が大事。組織が連携して一丸となって取り組んでいけるようにしてほしい
- ◇米作りについて、圃場の再整備を進めないと耕作放棄地が増える。3年後、5年後はたいへんなことになる。
- ◇新規就農者に補助制度があっても、農業後継者には何も無い。農業後継者にも支援策を

作って欲しい。そうしてことが後継者不足の歯止めに繋がるのではないか。